

## ジブチ月例報告 (2024年7月)

在ジブチ日本国大使館

### 【外政】

- 7月4日、ユスフ外務・国際協力大臣は、ハイケ・フラー駐ジブチ独大使同席のもと、ジブチを訪問した Heiko Nitzschke 独アフリカの角担当特使と面会し、両国間の協力関係、地域的・国際的な問題や課題について幅広く議論を行った。
- 7月8日、ゲレ大統領は、ボレル欧州連合・外務・安全保障政策上級代表の表敬を受け、両者は、多くの主要分野におけるジブチと欧州連合の複数のパートナーシップの進展状況や海洋安全保障分野について議論を行った。
- 7月9日、ディレイタ国民議会議長は、カナダのモントリオールで開かれた第49回仏語圏議員会議に参加。会議では、人工知能(AI)に焦点を当てた全体討論が行われ、議会環境におけるAIの活用を最適化するための具体的な行動計画を策定する機会となった。
- 7月20日、ジブチは、イスラエルによるパレスチナ自治区占領の継続的違法性に関するICJの勧告的意見への支持を表明した。1967年6月4日時点の境界線に基づく東エルサレムを首都とした独立国家の樹立が保証される必要があるとした。
- 7月25日、ゲレ大統領は、パリのエリゼ宮で、マクロン仏大統領と会談を行った。両者は、紅海情勢、エチオピアとソマリアの関係、スーダン紛争といった地域情勢や、新空港プロジェクトや仏・ジブチ防衛協力の深化について議論した。
- 7月25～26日、ユスフ外務・国際協力大臣が議長を務め、ラマムラ国連事務総長個人特使同席のもと、スーダン紛争の調停のためのリトリート会合が開催された。20か国以上の代表者や、アフリカ連合、アラブ連盟、IGADといった地域機関等が集まり、紛争を終結させるための行動について議論された。なお、日本からは原大使が代表として参加した。

### 【経済・開発】

- 7月3日、ヨニス・エネルギー大臣は、エネルギー、石油、ガス、海上輸送の分野を専門とするカナダのAQUAMERGEとギリシャのSEKAVINGグループの大規模な代表団の訪問を受けた。カナダ・ギリシャのコンソーシアムは、ジブチにとって重要な戦略的意義を持ついくつかのエネルギー・プロジェクトの実施に関心を示している。ジブチのエネルギー安全保障を強化し、経済成長と発展に貢献するため、石油・ガス製品の貯蔵に対する投資を希望しており、両者間で議論が行われた。
- 7月10日、ジブチ道路公社(ADR)は、パルマレ橋建設のための迂回路の準備作業に着手。本年1月22日にジブチ・日本両政府は無償資金協力「パルマレ道路橋梁建設計画」に関する交換公文に署名しており、同計画によって今後ジブチ市内パルマレ道

路に橋梁を建設し、道路を改良することで、交通容量を拡大し、洪水時の安全な交通手段を確保することを目指している。

●7月16日、社会問題・国民連帯省は、ソーラーパネルの設置とメンテナンスのトレーニングコースへの参加者に修了証書を授与する式典を主宰。このプロジェクトは、社会問題・国民連帯省の予算で賄われており、脆弱なコミュニティに力を与え、持続可能な回復力を促進すること、社会的・経済的發展をよりよく支援するために人的資本に投資することを目的としている。

●7月17日、ヨニス・エネルギー大臣は、中国のエネルギー企業であるGCLの訪問を受けた。エチオピアの天然ガスをジブチ港まで輸送するためのガス・パイプラインの建設計画の進捗に焦点が当てられた。同プロジェクトは、GCL、ジブチ政府、エチオピア政府の三者の契約によるもので、投資総額は40億米ドル以上である。

●7月18日、ヘレム環境・持続的開発大臣は、「ダイの森の生物多様性の保全と生態系機能の回復」プロジェクトの立ち上げワークショップを開催した。このプロジェクトは、地球環境ファシリティ（GEF）から320万米ドルの資金提供を受け、UNDPが5年間に亘って実施する。

●7月29日、ヨニス・エネルギー大臣は、エチオピアの石油企業であるEPSEの代表団の表敬を受けた。ドラレにある石油貯蔵所の性能向上と、貯蔵所から鉄道でエチオピアに輸送できるようにするプロジェクトについて焦点が当てられた。

### 【保健・衛生・社会】

●7月1日、IGAD代表団は、KFW（ドイツ復興金融公庫）及びRMF（地域移住基金）の代表を伴いアリサビエを訪問。視察の目的は、建設中のAli-Addeh 地域開発センターと改修中のアリサビエ工業高校の進捗状況の確認であった。IGADは、KFWを通じたドイツ政府とのパートナーシップにより、2019年に地域移住基金を立ち上げ、移住の課題に取り組み、その可能性を促進しており、IGAD対象地域における基本的な経済・社会インフラや支援イニシアティブに投資している。

●7月8日、ゲレ大統領は2024年パリ・オリンピックへの出場権を獲得した選手たちを激励。「間もなく開催されるオリンピックが、我が国にとって新たなトロフィーと栄誉を勝ち取る新たな機会となることを願っている。あなた方の勝利とスポーツ・パフォーマンスを通じて、国際的なスケールでわが国の知名度と影響力を高めることになる。」と選手たちに祝辞を述べた。

### 【軍事・治安】

●7月4日、ジブチ駐留仏軍は「飛行士の日」の祝賀イベントを開催。飛行士の日はフランス空軍の誕生を記念している。「飛行士の日」は1934年7月2日に空軍を組織する法律が公布されたことに由来し、今年7月4日に設定され、カテゴリー、地位、

配属の如何を問わず、航空士と航空兵の共同体への帰属意識の強化を目的としている。

- 7月14日、ジブチ駐留仏軍は仏革命記念日に伴う軍事パレードを実施した。
- 7月24日、ゲレ大統領とマクロン仏大統領は、両国の防衛パートナーシップの更新に合意し、協定に署名した。

### 【日本関係】

- 7月3日、原大使はヨニス・エネルギー大臣を訪問し、「地熱開発試掘プロジェクト」に関し意見交換を実施。同訪問には金田JICA所長も同席。
- 7月3日～4日、海上自衛隊幹部学校防衛戦略教育研究部長の北川1等海佐が、ジブチ海洋研修地域センター(DRTC)で開催される海洋安全保障に関するシンポジウムに参加するためジブチを訪問。原大使とも意見交換を実施。
- 7月4日、日本大使館はEU代表部、海洋研修地域センター(DRTC)とともに、航行の自由に貢献している国際的なパートナーとジブチの関係機関を集め、この地域の海洋安全保障に関するシンポジウムを共催。
- 7月8日、原大使は、シェラトン・ジブチ・ホテルのEmmanuel Riggi 支配人及び Ines Messaoudi 女史と、不安定な地域情勢がジブチ経済にもたらす影響について意見交換を実施。
- 7月8日、訪日中のヨニス・エネルギー大臣は、安藤直樹JICA理事と会談を実施。ジブチと日本の二国間関係強化における重要な一歩となった今回の会談では、主にアッサル湖周辺の地熱資源探査分野における二国間の協力状況や、わが国における再生可能エネルギー開発の将来展望について意見交換を実施。
- 7月11日、原大使は、当地を訪問中の株式会社タカコーポレーションの石原営業部長と、同社の活動と東アフリカ地域のビジネス環境について意見交換を実施。
- 7月18日、原大使は、ヨニス・エネルギー大臣を訪問し、「地熱開発試掘プロジェクト」に関し同大臣が訪日中に両国間で合意した内容、今後の進め方等について意見交換を実施。
- 7月18日、原大使は、ジブチ・パレス・ケンピンスキー・ホテルのNicolas Froger 支配人及び幹部と意見交換を実施。
- 7月28日、原大使は、ウルファ社会問題・連帯大臣を表敬訪問し、社会サービスや脆弱層の社会・金融面での取組について意見交換を実施。

(了)